

桜自治会 ガイド 24年11月

会長 佐藤 栄 志



ました。私たち桜自治会は百十世帯と小じんまりとした地域ですが、みんな仲良く活動しています。

一年の始まりは四月の総会から始まります。一年の事業計画を立てています。特に毎年定期的に行っている行事をいくつか取り上げてみます。

八月は自治会手作りの納涼大会を12年間行っています。毎年参加者が増えて今年も世帯の80パーセントの参加率です。毎年出し物を変えています。和光太鼓さんと呼んだり、楽団演奏とか、ウクレレ、ハワイアン演奏とか、マ

ジックショー、盆踊り、と多彩な演目で楽しんでいきます。模擬店も各別に競います。テーブルとイスを用意するので、お客さんは最後まで帰りません。最後には抽選会があり景品が多数当たります。小さい自治会の大きな行事で盛り上がります。

九月の敬老の日に自治会で健康に関する「出前講座」を開催し、70歳以上の方全員に記念品を贈呈させていただいております。参加できない方には一軒一軒記念品を届けます。今年も市長にご出席頂き直接祝っていただきました。今年も現役95歳のおばあちゃんが元気に参加してくれました。次に家族日帰りバス旅行で

す。いつもバスいっぱい参加者で大変喜んでくれています。

年明けの自治会顔合わせの初笑い新年会「なべ合戦」をにぎやかに開催しております。その他、ブルーベリー狩り、カラオケ同好会、映画会、防犯パトロール、老人会(友の会)、育成会(さくら子供会)、それぞれ活動を行っております。

なぜ地域活動が大事なのか。これから二十世紀は高齢化が進み、自宅にいた高齢者が多くなり、地域で何かボランティア・地域活動が出来ないかと模索しております。市と自治会と連携して少しでも会員さんのお役に立てばと思います。そのため

の自治会の活動だと思っております。いろいろな行事をすることで参加者が少しでも増えればと思います。自治会の行事は大変だけど親睦を深めます。そして団結をすることが出来ます。東日本大震災のとき組織の団結をしているところに物資、食糧が先に届くと聞きました。今この社会情勢の中、あきらめずに地域から変革して行こうという情熱をもって元気に前に進みたいと思います。我が自治会は会員あつての自治会です。どうしたら会員さんが喜んでくれるかいつも考えて行動し、八人の班長と六人の役員でこれからも頑張っていきます。

みなさんこんにちは。私たちの自治会は和光市の南側の閑静な住宅地です。最近そんな中コンビニやドラッグストアなどが出来、便利になってき